

令和元年度 教員自己評価チェックリスト 集計結果

2～5歳担当	はい		いいえ	
1	87	94%	6	6%
2	88	95%	5	5%
3	64	69%	7	8%
4	88	95%	5	5%
5	88	95%	5	5%
6	89	96%	4	4%
7	76	82%	7	8%
8	77	83%	16	17%
9	84	90%	9	10%
10	85	91%	8	9%
11	86	92%	7	8%
12	66	71%	24	26%
13	62	67%	3	3%
14	89	96%	4	4%
15	81	87%	12	13%
16	84	90%	2	2%
17	72	77%	21	23%
18	86	92%	7	8%
19	88	95%	5	5%
20	83	89%	10	11%
		92%		9%

2～5歳児担当教員自己評価コメント

- ・保育の専門性に気づくことができた。
- ・保護者とのコミュニケーションを大切にしていきたい。
- ・直接的な関わりよりも、間接的な関わりを意識しないといけない。
- ・子どもの姿に合わせた保育をしていかないといけない。
- ・同学年の先生とのコミュニケーション（共通理解）がとれた。
- ・教育要領をよく読みなおし、内容を理解していきたい。
- ・外部研修に参加したことで自身の保育を見直すきっかけとなった。
- ・保育者のすべきことがまだ足りていないことを実感した。

迷い、反省点

- ・援助のタイミングには自信がない
- ・固定観念が子どもに影響があるのではないかと心配
- ・同僚とのやりとり、共通理解ができていなかった
- ・記録がとれていない
- ・目の前のことをこなすだけで精一杯だった

次年度にむけて

- ・保護者へ子どもの育ちを伝えるためにもっと専門性が必要だと感じた。
- ・子どもに合わせた言葉かけが重要。
- ・子どもの動きや考えを受容的に受けとめるスキルを上げたい。
- ・障がいがある子どもへの支援。
- ・教育要領をもっと身近に置かないといけない。
- ・今までのあたりまえを見直していく。
- ・一人ひとりの成長に合わせて計画をたて、実践していく。
- ・子どもが主体的に活動できるように、環境の工夫をしていく。

0.1歳担当	はい	
1	46	92%
2	42	84%
3	49	98%
4	47	94%
5	27	54%
6	41	82%
7	48	96%
8	48	96%
9	45	90%
		79%

2～5歳児担当教員自己評価コメント

- ・待っててということが多かった気がする
- ・保育者は保護者とともに子どもの育ちを支えていかなければならない
- ・知識不足が否めない
- ・睡眠が子どものリズムで入眠できていないことは保育者の都合になってしまっていた
- ・計画をたてる際は、子どもの様子に合わせて立てられないといけない
- ・安心安全をしっかり意識したい
- ・チェックすることで気が付くことが多い

迷い、反省点

- ・園医との連携
- ・子どもの月齢に合わせていたのか、クラスの活動に合わせていたのか
- ・説明ができないことがある
- ・食事（離乳食）に関して、気を付けなければならないことが多かった
- ・まだ知らないこと（知識的にも規則的にも）が多いと感じる

次年度にむけて

- ・待たせないでも考えればできる。
- ・授乳、離乳の支援ガイドブックをよく読む
- ・衛生面の徹底
- ・園内研修とはいかないまでも、クラスの先生と共通理解のために話し合いたい
- ・保育者同士が学年を超えて連携をとっていかなければならない